

令和5年度

志木市立志木第四小学校 学校経営方針
学校教育目標



- | | |
|-----------|-----------------|
| ○よく考える子 | (知) 自分で考える力 |
| ○思いやりのある子 | (徳) 他者と助け合う品性 |
| ○やりぬく子 | (徳) あきらめない粘り強さ |
| ○元気な子 | (体) 活力あふれるはつらつき |

○目指す学校像・子ども像・教師像

目指す学校像

気持ちの良いあいさつあふれる学校
地域とともにある学校

目指す子ども像

自ら学びつづける 心豊かな子

- ・よく考え、主体的に学習に取り組む子
- ・他人を思いやり、協調性のある子
- ・心身ともに健康でたくましい子

目指す教師像

学び実践しつづける教職員

- ・子供の姿を大事にしながら、指導力を磨き続ける教職員
- ・互いに切磋琢磨し、同僚性を重んじる教職員
- ・児童、保護者、地域の方から信頼される教職員

○基本理念

生き生きと瞳輝き 笑顔あふれる志木四小
～『にじいろ』の学校づくり Part II～

学校経営の基本方針

自らの役割を自覚し、新たな挑戦に果敢に挑む「できる理由を考える」教職員集団を目指す。常に、教育活動の真ん中に児童を置き、自律性・同僚性・人間性を高めながら保護者・地域からも信頼される、教育のプロフェッショナルであるチーム志木四小としての力を最大限に発揮し、さらに一步前進する。

柱Ⅰ： 変わる勇気と変える覚悟

教職員一人一人が学校運営の当事者意識を高め、自らの役割を自覚して従前主義や前年踏襲に捉われない「工夫・改善」に果敢に挑む。組織的・継続的にP D C Aマネジメントサイクルにて効果の検証を行い、さらに一步前進する。

柱Ⅱ： 豊かな学びで未来を開く

子供を育てる4つのステップ

「自覚」…自分でできるか？できないか？（メタ認知）

「自信」…自分でできた。もっとできるかも！（自己効力感）

「自主」…自分でやってみよう。自分で探究してみよう。（やる気、意欲）

「自律」…自分で実践、実行する。（自己指導能力）

で主体性を育む教育活動を展開する。学級経営、学年経営を土台とし、総合的な学習の時間や各教科等における児童の非認知能力を伸ばす教育活動を展開する。

柱Ⅲ： チーム志木四小

個人の自律性・人間性を高めつつ、同僚性を大切にした横のつながりを強化する。各主任が自分の役割に責任を持ち、仕事を分担するなど、チームとして教育活動を推進する。教育のプロフェッショナル集団として、教職員事故防止・マナーアップ・教育公務員としての資質向上に努め、児童・保護者・地域から頼りにされる学校づくりに邁進する。

柱Ⅳ： 学びにふさわしい学習環境

児童が安心して学べる安全で清潔な教育環境について、0ベースで見直す。授業規律の徹底、あいさつと返事の励行、しっかり話を聞くこと、「チャイムで始まりチャイムで終わる」授業、黙々清掃に年間を通して取り組む。「いじめ見逃し0」を生徒指導の根幹に据え、いじめや問題行動の早期発見・早期対応を徹底し、組織で対応する。問題行動の見立てや見通し、予防など、経験豊かな教職員から積極的に学ぶ組織風土を醸成する。

柱Ⅴ： 学校・家庭・地域・関係機関との連携

コミュニティ・スクールとして、保護者・地域の学校運営への参画や支援・協力を促進し、児童・保護者・地域が協働できる地域とともにある学校づくりを目指す。義務教育学校設置に向けて、志木第二中学校、志木第二小学校との連携・協力を強化し、志木二中学校区としての一貫教育の土台を構築する。

